

# 議会だより入善

GIKAI DAYORI NYUZEN



一般国道8号入善黒部バイパス  
地域間交流につながる虹の架け橋



## 12月定例会

- 平成13年度一般会計補正予算 ……3
- 一般質問・町政を問う（11議員） …4
- 常任委員会レポート ……16
- 市町村合併ちゃ、どうなるがけ～…17
- 入善のむかし話・傍聴席から一言…18

# No.120

2002年 1月25日  
(平成14年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会  
富山県下新川郡入善町入善3255  
☎0765(72)1100 ㊚0765(72)4711

# 謹賀新年

輝かしい新春を迎え  
町民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます



## 新年のごあいさつ



入善町議会議長

五十里 隆章

あけましておめでとうございます。新しい年をご家族お揃いでお迎えのこととお喜び申し上げます。

新世紀も2年目をむかえ、国の内外に大きな時代の変容を感じる年であります。

いま我が国は、行財政改革や景気対策など山積する課題がありますが、地方自治にとりましても従来の形式主義や前例踏襲にこだわることなく、勇気ある変革を求められている時代でもあります。私達は、今後の大きな飛躍をめざして町の諸施策の推進に取り組まなければなりません。

いま町は、昨年スタートした総合計画に沿い超少子高齢

化時代に対応した福祉施策、高度情報化対策、環境保全対策などに加え、いま新たに脚光を浴びている海洋深層水活用事業などの推進が町民の皆様から強く期待されています。このように、私達の町は、新しく生まれ変わるために、生活環境と行政基盤の整備を強力に進めなければならぬと思います。

そして、我が入善町の恵まれた自然環境を大切にしながら、活気に溢れた、住みたいまちづくりに努めたいと、新年にあたり思いを新たにしております。

皆様のさらなるご健康とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。

# 平成13年度一般会計補正予算

1億1540万円を増額

総額112億5029万円に

## 深層水の活用

平成13年12月6日から20日までの間、議会の改選後初めての定例議会が開催され、予算案4件、条例案4件を議決した。また、平成9年に発生したロシア船籍タンカーによる重油流出事故による損害の補償に係る和解についても議決した。

### 海洋深層水活用 推進事業

115万円

海洋深層水活用施設が去る平成13年12月21日に竣工式を迎え、町民が期待していた深層水の分水が開始された。

深層水の活用については、まだまだ未知の部分が多く、町民や企業などにもっと知ってもらうため、PR活動を展開する。

これにより、新たに企業が進出したり、雇用が確保され

るなど町民にとって、まさに「宝の水」になるよう努力するものである。

### 除雪対策事業

1000万円

平成13年12月10日に開通した、国道8号バイパスの除雪対策費として、新たに予算化した。この道路の除雪については、24時間体制であったり、交通の安全確保をはかる。

### 12月議会で審議した条例

- 入善町職員の再任用に関する条例……………可決
- 公益法人等への職員の派遣等に関する条例……………可決
- 入善町の職員の給与に関する条例等の一部改正……………可決
- 入善町議会委員会条例の一部改正……………可決

### 請願・陳情のゆくえ

- 飯野小学校下に学童保育を求める請願……………採択
- 入善町古黒部地区県営担手育成圃場整備事業に関する請願……………採択
- 防災関連事業の推進と黒部工事事務所の執行体制拡充を求める請願……………採択
- 全校下に学童保育を求める請願……………採択

### 意見書の提出

- 防災関連事業の推進と黒部工事事務所の執行体制拡充を求める意見書……………採択
- BSE(牛海綿状脳症)対策の強化に対する意見書の2件について、地方自治法第99条の規定により、政府関係機関へ意見書を提出した。

# 町政のここが聞きたい ここが知りたい

## 一般質問

### 第2回定例会

#### (11人の議員が登場)

佐藤 一仁 議員 (5P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中心市街地と商店街の活性化について</li> <li>2. 保育料の軽減化について</li> <li>3. 景気浮上対策について</li> </ol>
広瀬喜代志 議員 (6P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若者の就職率の低下の現実と対策</li> <li>2. シルバーエルダー層の高度な技術や能力の活用が大切でないか</li> </ol>
九里 郁子 議員 (7P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て支援について</li> <li>2. 雇用と町民のくらしを守ることにについて</li> <li>3. 公園整備について</li> </ol>
西尾 政巳 議員 (8P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2期目の抱負と主な施策について</li> <li>2. 職員の出向や派遣について</li> <li>3. 米作農家の問題について</li> </ol>
松田 俊弘 議員 (9P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケーブルテレビについて</li> <li>2. 町営バス・広域バスについて</li> <li>3. 介護保険について</li> </ol>
長田 武志 議員 (10P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「夢がもてる・ぬくもりのある町づくり」の実現について</li> <li>2. 「安心して働ける住みよい町づくり」の実現について</li> </ol>
東狐 和 議員 (11P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「21世紀の人づくり」望ましい教育の実践</li> <li>2. 「活力あるまちづくり」について</li> <li>3. IT関連について</li> </ol>
山下 勇 議員 (12P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海洋深層水事業における全体構想について</li> <li>2. 広域消防の現状と今後の展望について</li> </ol>
本多 幸男 議員 (13P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然環境との共生施策の推進について</li> <li>2. 国県出先機関の統廃合ならびに高等教育</li> <li>3. 公共事業の将来構想に対する入善町の対応について</li> <li>4. 海洋深層水・水産部門事業について</li> </ol>
中瀬 範幸 議員 (14P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康と福祉の郷「サンウェル」の活用、拡充策について</li> <li>2. 交通安全の推進について</li> <li>3. 無雪害まちづくりの推進について</li> </ol>
大橋美椰子 議員 (15P)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. にゅうぜん男女共同参画プランについて</li> <li>2. 職業と家族との両立支援について</li> <li>3. 子育てのための社会的支援について</li> </ol>

議会事務局に議事録があります。

12月議会の一般質問は、12・13日の2日間に行われた。上青小学校6年生全員の傍聴もあり、更に選挙後、初の登壇とあって、より一層の舌戦となった。主な内容は次のとおりである。  
(この掲載されている内容は個々の議員がその要旨をまとめた)

# 中心市街地と商店街の活性化を

佐藤 一仁 議員

町長

## 中央公民館跡地の再利用

問 「入善町総合計画書」にうたっている若者定住の促進と公営住宅の再整備に際し、中心市街地の位置付けをどのように考えるか。また、中心地に高層住宅を建設し人口集中を図り、中心市街地と商店街活性化の一助にしては。

米澤町長 「中心市街地活性化計画」の基本方針は、市街地への人口集中である。その意味において高層住宅は理にかなっている。TMO構想の中でも中央公民館跡地をどのように活用するか大詰めの段階を迎えている。商工会や商店街と官民一体となってさらに取り組んでいかなければと考えている。

同時入所以外の第2子以降の保育料軽減を

公平さにも配慮して

対応したい

問 現在の保育制度では同一世帯から2人以上の児童が同時に入所する場合に限り2人目は50%、3人目は10%の負担の軽減措置がとられているが、同時入所にならない第2子以降の児童にも軽減措置の適用を。

上原健康福祉課長 国の基準により、同一世帯から2人以上の児童が同時に入所する場合、年齢の高い児童から順に1人目は100%、2人目は50%、3人目は10%の保護者負担となっている。県では第3子で4歳未満児の場合は半額となっており、また、町独

自での軽減として第4子以降の児童が入所する場合は無料としている。保育料を別枠で軽減した場合、町財政からの持ち出しとなるが、負担の公平さにも配慮しながら対応したい。

「入善町振興券」の発行を考えては

財政難のため見送りたい

問 昨今の経済不況による収入減や、今後予想される社会保障費や医療費の負担増による町民の生活に対する不安や不満を和らげるために「入善町振興券」的なものを発行する考えはないか。

飛田商工観光課長 平成11年度に企画された「地域振興券」については様々な議論を



活性化に取り組む商店街

呼んだところだ。65歳以上と15歳以下の国民に2万円を交付し個人消費を促し活性化を図ろうとした事業だが、町では1人あたり1000円を負担して町内商店の活性化を図ったが、その後の景気を見れば

根本的な解決には到らなかったと考える。指摘の振興券については財源が厳しいことやその効果に疑問があるため町が主体となって取り組むつもりはない。

# 雇用安定は町民の英知の結集を

広瀬 喜代志 議員

## 町長 情報、人材のネットワークで



人気殺到、深層水取水施設

**問** 若者の就職率の低下の現実と対策、我が町の高卒・大卒の就職状況の実体を把握しているか。

**町長** 入善高校の平成13年3月の卒業生192名中12名が就職希望、進学は180名、幸い12名は県内外に無事就職した。大学卒後の地元に戻り、インしての就職はほど遠い実態である。

### 活性化対策について

これから独自の施策を展開する時代に

**問** 現実的な活性化対策は進んでいるか。

**町長** 企業誘致については現況で無理があり、これから各界・各層の人材や情報ネットワークを駆使し町独自の施策を展開する時代に入っている。

### シルバー層の

### 高度な技術の活用

町の特産物や新商品の開発など

**問** 地域に潜在するシルバー、エルダー層の高度な技術や能力の活用が大切ではないか。

**町長** 町の特産物や新商品の開発などで、若者達が引退できる環境づくりと雇用の安定をはかりたい。

# すべての校下で学童保育を

九里 郁子 議員

教育長

毎週土曜日に開設したい



親子で楽しいクリスマス会（西部児童館）

問 子供を生み育てることと安心して働き続けることができちんと両立できる社会にしていくことが、少子化対策の基本といえる。

児童福祉法は、児童福祉の担い手として国と自治体の責任を明確にしている。

昼間、親が働いている家庭の子供に、遊びと生活の場としての学童保育が法制化された。全校下で学童保育を実施する考えはないか。併せて、0歳から18歳までを対象とする児童館やミニ児童館を全校下に設置する考えはないか。

米島教育長 来年度から、学童保育の対象児童が多い飯野地区で、平日の午後と土曜日に、入善地区は2つの児童館で対応する。他の地区は町有の公民館で土曜日を中心に進めていく。ミニ児童館は、町

有の公民館が適切と考える。

雇用対策組織の設置を

緊急雇用対策本部を

設置

問 YKKをはじめ企業のリストラ等による町民への影響をどのように把握しているか。対策を検討しているか。

町長 企業誘致、雇用安定のための企業支援、ワークシェアリングなどを検討。緊急雇用対策事業の実施に向け取り組んでいる。

舟見山自然公園の

遊具設備を

年次的に整備したい

問 町には、32の都市公園と

2つの児童遊園があるが、十分な整備が行われない公園や、適切な設備や管理・運営がされていないと思われる箇所が見受けられる。

① 舟見山自然公園の古くて危険な大型遊具の撤去は適切な処置だったと思うが、子どもたちに喜ばれていた。今後の整備計画を示していただきたい。  
② 樹木は付近の住民に迷惑をかけることもある。適切な剪定をし、誠意をもって協力をお願いしているか。

浜田建設課長 舟見山自然公園は町を代表する公園であり、地元と協議しながら気候や周辺環境に合わせた遊具を年次的に整備したい。公園内には木陰が必要だが、剪定もしている。大変迷惑をかけているのも事実であり、今後とも協力をお願いしていく。

# 2期目の抱負と主な施策は

西尾 政巳 議員

## 町長 企業誘致と新総合計画の実施

問 現在の不況、リストラ、失業者増に対する受け皿は。

町長 雇用創出に向け、雇用計画の検討作業を進める。

問 離職者対策としての新規就農促進策はないか。

町長 体験研修、実践研修等が実施されており、研修費用の支援の財政措置もある。

職員の派遣は必要か

派遣先の選定と効果を厳しく考慮

問 職員の派遣は何故するか。

本多総務課長 現在15名派遣しており、派遣先の団体の円滑な事務推進を図るため。

問 どういう資格をお持ちの方が派遣されるのか。

総務課長 管理のための派遣であり、特に資格は持たない。

問 職員の派遣でなく、公募されたらどうか。

総務課長 今後派遣先団体の選定にあたり、町の業務との密接な関連性、公益性の必要性により判断する。

問 職員を派遣するより、職員の定数を減らしたらどうか。

総務課長 町の施策との関連性を踏まえて、職員派遣の効果厳しく考慮する。

簡易な道の駅を2、3カ所つくって農家の収入源につなげられないか

「売る農業」、「儲かる農業」への足がかりになると期待する

問 農家は環境保全に全力で取り組んでいる。農家の維持や発展策は。

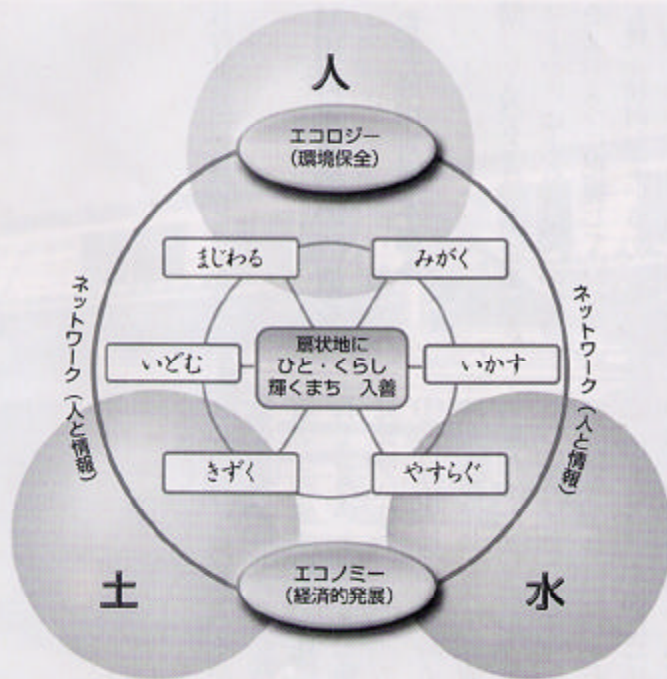
大角農業水産課長 生命産業法人(仮称)を設立し町の特産物をはじめ、花卉、野菜、果樹の生産を支援する。

問 転作田にブドウを植え町営のワイン工場を造ったらどうか。

農水課長 新たな特産品づくりに大きなインパクトが期待できる栽培農家の発掘が第一である。可能性があれば支援していく。

問 定年後の健康増進面からも農業は最適産業だが。

農水課長 会社等で培ってこられた技能を活用して、新担い手として期待する。



総合計画 エコ・ネットタウン



# ケーブルテレビ整備費は

松田俊弘議員

助役

町の事業費は15億円

問 2年後に閉局を検討しているケーブルテレビは、莫大な費用がかかる。魚津では加入率が40%でないと赤字だが、現在は16%でしかない。不況下で生活防衛に必死の町民にとって、くらしや福祉の充実こそ優先されるべきだ。町の負担、町民の加入料などはいくらになるか。

木本助役 新川広域圏全体の整備費は45億円。町は、補助金などを引けば4億5000万円の負担。魚津では、加入料と工事費で6万円、利用料はテレビとインターネットで6300円である。さまざまな行政サービスを提供し、情報の過疎地にならないよう町の重点政策としている。



八尾CATVのキ-局

介護保険料の減免を

来年度見直しも検討

問 制度導入時に国庫負担を2500億円減らしたため、高齢者に大きな負担となった。ようやく新川地域介護保険組合が、一部の低所得者の居宅介護利用料を半額にしたが、保険料についても所得による徴収区分の抜本的見直しが必要だ。

健康福祉課長 保険料の減免規定の中に、「その他特別の事情があること」を付け加え、生活困窮者など個別に対応していく。現在の保険料の規準では、低所得者に負担が大きいため、来年度中に見直しの協議がされると思う。

町営バスの増車を

来年度は困難

問 町は6月議会で「総合計画の平成14年度に1台増車を盛り込み」「児童生徒の通学も視野に入れた路線の検討も考えている」と答えた。1台の経費負担は630万円、ケーブルテレビよりはるかに小さいのになぜ出来ない。また、朝日や黒部の総合病院に通える広域バスについて「県や広域圏、関係市町村と連携し検討する」と述べたが、進んでいるか。

助役 町営バスは、試験運行、地鉄バスの動向を踏まえ増車のタイミングを図っている。広域バスについては県への働きかけを始めており、定期バスのほかタクシー利用や福祉制度とも調整しながら検討していく。

# 活力ある町づくりの基盤整備は

長田 武志 議員

## 町長 町道の整備促進と優遇税制で対応

問 企業づくり、企業誘致への基盤整備への取り組みは。

町長 飯野地区は8号バイパスの供用開始で入善町でも優れた企業進出の候補地だ。町道平曾川国道線は国道とバイパスの取付道路のみでなく、産業道路として海洋深層水施設へのアクセス道路と位置づけ整備促進を図る。また企業立地に対する助成金、税制面での優遇措置、融資制度などの充実のため、町商工振興条例の改正を含め検討中である。

既存企業・ベンチャー企業への支援策は

資金支援強化と起業家支援センター開設で対応

問 雇用の安定と創出を図る既存企業およびベンチャー企業への支援育成の取り組み策は。

町長 昨年より企業訪問を実施、その交流の過程で地元企業の紹介を、ふるさと七夕まつりに合わせ「産業フェア」を開催した。そのほか中小企

業の経営や雇用の安定のため、9月に県小口融資預託金の増額補正をしている。またベンチャー企業支援育成にも「起業家支援センター」の開設を将来の目標にし努力している。

学童保育実施対策は

地区公民館等に児童室を設置して対応

問 今、若い世代が安心して子供を産み、育てる環境づくりが遅れ出生率の低下が大きな社会問題となっている。核家族化が進む中、保護者が安心して働ける環境としての学童保育の実施計画はあるか。

健康福祉課長 町が重視している「子育て支援」という立場から、小学校低学年で保護者が労働等で昼間家庭にいない児童で、保護者が希望する子どもを対象とし、地区公民館に児童室を設け地区の人々の協力のもとに遊び、スポーツ、文化活動ができる学童保育を行いたい。



供用開始の8号線バイパス

特別養護老人ホームの待機者対策は

今後の動向を見極めて増床を検討

問 要介護高齢者の特別養護老人ホームの待機者のための増床計画はあるか。

健康福祉課長 入善町の特別養護老人ホームでは待機者があり、しかも年々増加傾向に

ある。町では本年9月に「おあしす新川」が開所したばかりであり、現在のところ具体的な増床計画はない。しかし、来年度「こぶしの庭」が痴呆専用棟50床を増床、特別養護老人ホームについても、今後の動向を見極めて増床を検討する。

# 不況・雇用支援策として相談窓口を提供せよ

東 狐 和 議員

## 助役 雇用対策推進本部を設置する

問 長引く不況で失業者が5・4%の352万人、自殺者は3万5000人を数え交通事故死の3倍となる。リス

トラ、財政改革の嵐の中で希望の持てる支援策として町民の相談窓口サービスを提供できないか。

助役 町の「雇用緊急対策本部」を町長を本部長として設置する。国の緊急雇用創出特別交付金事業をはじめ住民生活の雇用安定施策に努めたい。

問 企業誘致の具体的内容は。

町長 町内の関係機関で企業誘致促進協議会を5月に設立。10月PFG(社名)が情報産業のコールセンター進出を表明。70人の雇用と立地場所を含め来年の操業をめざしている。

教育改革をどのように考えているか

生きる力を育む

問 2002年4月から新学習指導要領の実施による教育

改革をどのように考えているか。

教育長 「総合学習」は環境や福祉、あるいは奉仕活動や企業体験、そして地域の人との交流を通して故郷を愛する心を育み行動力を養う。

問 週5日制で学校行事はどうなるか。

教育長 土曜日に行っていた行事を夏休み中に計画し、PTAや保護者とも相談のうえ工夫改善に努める。

IT弱者をつくらぬように

継続した事業の実施を積極的に行う

問 町のIT講習会は町民へ

のIT普及促進に大いに役立っていると思うが受講率と達成率の検証を問う。

笹島保健情報室長 年間トータルで3000人以上が受講され関心が高い。大変好評で受講率96・8%で当初目標を達成した。

問 ケーブルテレビ計画の進捗状況は。

大木企画広報課長 2市3町検討会の結果、平成15年中の開局を前提として、国・県の計画に遅れないよう対応したい。

問 組合マーケットの存続問題を問う。

町長 平成14年3月が一つの分岐点。中心市街地への影響大であり、町もできるだけ、側面的に協議なり相談に乗りたいと思っている。



新設した雇用対策推進本部

# 海洋深層水事業の全体構想は

山下 勇 議員

## 海洋深層水課長 水産・非水産で幅広く検討

問 神秘の水、深層水の供給施設が12月21日竣工、4月に養殖事業が開始される。すでに試験飼育が始まっており飼育された商品の販売、創意工夫と非水産部門との連携が絶対の要因と考えるが。

鍋谷 海洋深層水課長 深層水の特性を活かした全国で初めての養殖事業であり、アワビは入善の特産品として付加価値と収益性を求めた取り組みが必要。アサヒビール発泡酒が深層水の要となりイメージアップにつながる。活用の道が拡大され、食品、医療、健康増進など幅広い分野での利用を検討し深層水関連産業の誘導を図りたい。

問 深層水のキーワードは「長寿社会と健康」にあり、入善町は恵まれた地下資源、海山、野と黒部川はまさに入善の宝である。全体のプランとして研究開発、水産、健康福祉それぞれのゾーンを考え、園家を中心として平曾川海岸平野部を総合的に活用し、交流の拠点との位置付けを。

海洋深層水課長 園家山を中心とし、飯野北部地区と位置づけている。園家山周辺の整備計画は地元の意見を聴取しながら今年度中にまとめたたいと作業が進められている。

### 広域消防の現況と今後の展望

#### 市町村合併問題と

共に考える

問 消防庁が消防の広域合併を打ち出し、新川広域消防推進委員会での常備消防広域化を推進すべきではないのか。

町長 鋭意検討してきたが、各論では各市町間に広域消防に対する認識のずれがあり、広域再編までの合意に達していない。市町村合併問題とあわせて考えていく時期にきていると認識している。

問 各自治体で配置している大型消防はしご車は、火災時に出勤したのは過去3回である。あまりの大きさを消火活動に支障ありと聞くが役目は果たしているのか。次期購入

時には町単独でなく広域圏で購入すべきではないか。

町長 昭和54年に購入し22年間経過し大変老朽化している。財政難の中で町単独での購入は困難と思われ、今後の市町村合併状況などの推移を見極めながら対応したい。



新型救助工作車、人命救助に活躍

# 水資源保全活用条例(仮称)の制定を

本多 幸男 議員

## 町長 平成15年度に制定

問 入善町独自で「水資源保全活用条例」(仮称)を制定する考えはないか。

町長 入善町独自で「水資源保全活用条例」(仮称)を制定する考えはないか。

町長 地下水は有限であり、町の財産を守る観点から平成15年度に「地下水保全活用条例」を制定したい。

問 三方コンクリート河川を極力減らし、自然環境と共生

建設課長 今年度土地改良法の一部改正され、「食料の安定供給」と「自然と共生する環境の創造」が挙げられた。町としても庄助川のように川底を石張りにしたり、魚の住める環境に配慮した工法を考えている。しかし、維持管理に

労力と経費がかかること、工事費が割高になるので関係機関と協議合意を得て進めたい。

であり、行政サービスの低下にならないよう県に強く要望している。

### 多人数学級支援

### 事業の継続を

### 継続を強く要望する

福沢住民環境課長 かつてメダカやヤニシが生息していた環境を人間が破壊していることに想いを置き、自然生態系の動植物との共生が大切である。ピオトープの推進が急務と考えている。

問 低学年多人数学級支援講師配置事業の利点を生かし、子供達のためにも、やる気のある教員養成のためにも継続するよう要望する考えはないか。

問 富山県入善土木事務所の統合が話題となっているが、町の対応策があるのか。

教育長 生徒指導の観点から大切な事業であり、県の市町村教育長会などを通して継続を強く要望している。

町長 県の新世紀紀行政改革懇談会で検討されていると聞いている。土木事務所の業務は治山、治水、道路整備の根本

問 入札制度は透明、公平、公正に実施されていると言えるか。

助役 「入札時に不誠実な行為を行った業者」「完成検査で点数が悪かった業者」「施工又は管理が不適切で口頭又は文書で措置を求められた業者」「請負者の責で工期を延長した業者」「事故が発生した業者」「苦情が多発し周辺対策の悪い業者」など常識的な事柄を逸脱した業者は次回の指名を考慮する事になっている。

問 深層水養殖事業の中・長期計画を示されたい。

町長 2年度目から売り上げ4400万円で800万円の黒字を見込み、5年目から累積収支が黒字に転ずる。アワビ個数5万5000個でスタートするが、現施設で10万個まで養殖可能である。



人気あるゆづり水広場

# サンウエルの利用拡大をはかれ

中瀬 範幸 議員

## 町長 多くのイベントを企画

問 町民待望の「健康と福祉の郷」の中核施設として、サンウエルがオープンしてから1年余が過ぎたが、どう評価し、更に利用者拡大をどのように考えているか。

町長 すでに11月末で9万4000人の来訪者を超え、盛況と評価している。更に積極的なPRと、会館利用者の支援も行っていく。

今後の展開として、サンウエルは情報発信の「道の駅」的機能を有しており、扇状地回遊の起点として位置付けている。パソコン教室や住民検診、健康リハビリ等の他、自主事業として子供達から高齢者まで楽しめる多くのイベントを企画している。

### 交通弱者の

### 安全対策は

### 地域ぐるみで推進

問 入善警察署管内の交通事故は、平成12年度30%も増えている。

なかでも午後4時からは、交通弱者や自転車の事故が増

えている。防犯灯増設など事故防止対策はどう取り組んでいるのか。

町長 町では各種団体の協力を得て「入善町交通安全対策協議会」を組織し、交通安全

の推進に努力しており、平成13年度は件数、傷者とも減っている。

また高齢者対策として、夜間外出時の反射材の貼付、自転車事故については家庭と地域社会、学校の3者が連携を



にぎわうふれあいショップ

強めた取り組みを推進したい。防犯灯については、PTAの要望は全て盛り込み、8灯の新設を補正予算化した。今後、も要望に応えていく。

### 主要道路の除雪計画は

### 除雪委託で万全を期す

問 主要道路に対する除雪計画、また融雪装置の整備計画とメンテナンスのあり方に問題はなにか。

町長 町では「除雪対策協議会」を開催し区長さん方の意見を聞き、道路延長260kmを民間業者42社と中核農家7戸に委託し、早朝の出勤時間帯に間に合わせる。

消雪装置は、市街地及び密集集落地区を中心に、現在約50kmに達している。維持管理については、公共性から町が負担すべきと考えるが、要望箇所が多く現状のままとし、将来的には負担の軽減に努力する。

# 看護休暇制度の導入は

大橋 美椰子 議員

## 町長 年次休暇の消化で

問 雇用環境の整備や、仕事と子育ての両立を目指した支援策の強化が急務な課題である。育児休業や介護休業で女性が退職させられないよう町が率先して看護休暇制度の導入を求める。

町長 育児休業基本給付金・職場復帰給付金・介護休業給付金、3つの制度について普及啓発、給付金の周知と活用促進に積極的に取り組む。看護休暇制度は成立するまでに至っておらず年次休暇を消化する形をとっている。

### 男女共同参画社会の町の取り組み策

#### 14年度、条例を制定

問 13年3月以降の庁内連絡会議委員のメンバーはどうなったのか。女性議会・推進員

主催の各地域会議等における提案・討論内容の把握と行政の取り組み策はどうか。

#### 金森生涯学習・スポーツ課長

これまでの庁内連絡会議委員は男性のみで構成されていた。12月25日第1回の会議開催を予定しており、新しい委員には、男子12名、女子8名を任命し、14年度に男女共同参画社会推進条例を制定する。各地域会議に出された意見や要望を十分に踏まえ、可能なものから順次実施し、活力あるまちづくりを推進する。具体例として各地区公民館を子どもたちに開放との要望に応え全地区年次的に実現を図る。

#### 児童室の活用と

#### 読書活動の推進は

#### 各種事業を積極的に推進

問 飯野地区公民館に児童室が設けられているが利用されているのか。「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立したが、計画策定・実施の具体策を求む。

#### 生涯学習・スポーツ課長

農村環境改善センターの会議室を児童室に改装、マンガ本などが自由に読める。各地区公民館でも土曜日に児童保育を実施する計画を考えている。地区の方と十分話し合い、よりよい方向を目指したい。町の図書館では、「お話の部屋」、「お話しキャラバン隊」など、子どもの読書に関する各種事業を積極的に進めている。「子どもの本を読む会」などの育成にも努力している。



サンウェル、クリスマスの集い

# 常任委員会レポート

## 総務

### 臨時職員の社会保険料計上

町臨時職員の社会保険加入は、法に基づく加入措置であり、遅きに失した感は否めないが、低賃金で働く臨時職員の待遇改善であり評価したい。

次に庁舎内のPCB使用の照明器具は人体への毒性が、問題視され、昭和48年から使用禁止になっているものである。施設を点検され、早急に交換に努められたい。

また、その器具の処理や保

管については万全を期すよう対応されたい。

上原合同庁舎修繕費700万円の補正については、4月に合併の土地改良区が使うための工事とのことで、町負担は疑問との意見があったが、合併促進のためでもあり、やむを得ないことと思われる。賃貸契約においては、適正に契約するよう留意されたい。

## 教育福祉環境

### 高齢者のインフルエンザ予防接種に補助金を支給

高齢者等のインフルエンザの予防接種法の一部改正にともない、法の施行日に適及して適用する予防接種の委託料は、高齢者の健康づくり施策の一つとして評価するものである。

この制度は、予防接種を受ける人の負担を1000円とし、その差額を町が負担する

ものである。

対象者へのPRなど利用しやすい体制づくりをするよう要望するものである。また一方、肝心のワクチンが一部不足するのではないかと懸念されている。県や医療機関等の連携を密にして、町民に不安を与えないよう対策をお願いする。

## 産業経済

### 付託された案件、全員一致で可決、採択

生産調整の団地化補助などを行い支援してきているが、

今後、転作率の強化や大型団地化(5ha)などで対応が困難になることが予想され、これまで以上の強力な支援策が必要になる。

商店街活性化のため、放送設備更新の補助金については十分理解する。しかし、これまで駐車場の整備や街路灯の整備補助など実施してきたいるが、その効果を確認できずにいる。商店街の空き店舗対策など総合的かつ継続的な事

業展開が必要であり、今後の努力をお願いしたい。

緊急雇用対策本部や経営金融相談窓口の設置を提案されたが(18日に設置済み)、予算面に見えていない。

町内に立地する企業の支援も重要であり、雇用にも大きな影響を与えると予想され、全体的な対策を望む。企業誘致対策室などを設置し、1課1係の仕事というのではなく、町全体で総合的な活動の推進が必要である。





# 市町村合併ちゃ、どうなるがけえ～!!

市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウムが各県で開催されている。  
 富山県内では、広域圏や郡単位で行政の研究会ができ、議論が活発化している。議会では新湊市、大島町、下村、平村、福野町、福光町、入善町に継続的な研究会が発足し議論している。  
 今年度から議会だより入善において“市町村合併ちゃ、どうなるがけえ”をシリーズ連載します。  
 皆さんの合併に対する思い、要望、ご意見などをお寄せください。

## 合併特例法…

市町村の自主的な合併促進のため、行財政制度の特例を定めた17年3月までの時限法。  
 合併で地方交付税の配分額が減少しないよう、10年間は旧市町村の合算額を保証。まちづくりの建設事業は、元利償還費の70%が交付税で賄える有利な地方債が充てられる。

## —皆んなで考えよう— 何のため・誰のための合併？

### 合併しちゃえば？という意見

生活圏は今の市町村を大きく超える。細かい区分はやめて一緒にいいよ。  
 これから先の時代、小さい自治体に予算が十分確保できるか不安。この際、富山にくっついて養ってもらおうぜ。  
 大きい市になった方が、国からたくさん予算を分捕ってこれるのでは？  
 住所に「市」って書ける方が格好いい。  
 合併交付金が出るうちに合併しよう！

### 合併は困る！という意見

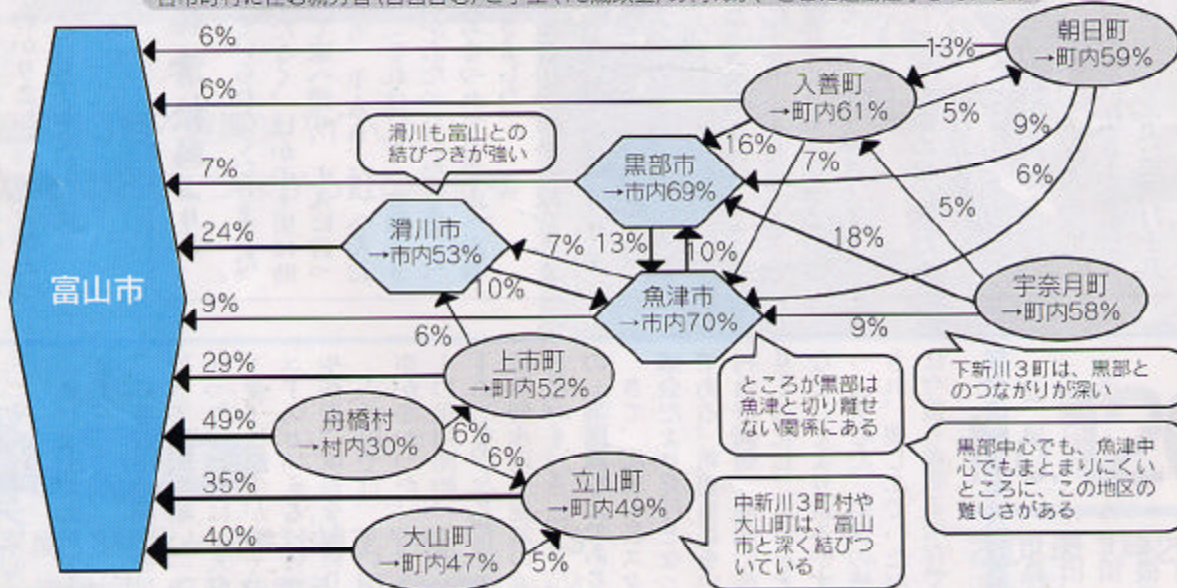
町独自の予算がなくなると、地元業者の仕事が確保できるか不安だ。  
 大きな市の一部になって、山奥の部落まできちんと目が行き届くのか？  
 合併後の議会で、旧町の利害得失をきちんと訴えて通していけるかな？  
 子供を役場に入れたいけど、大きな市じゃあ競争が激しくなりそう…

### どっちでもいいけど、という意見

公共料金が下がるんなら賛成。一円でも上がるんなら合併なんてやるな！  
 私が何を考えようと関係なしで、どうせ上のほうの力関係で決まるんでしょ。  
 行政がどうなろうと、私の生活には特に何の関係もございません！

## 県内東部の市町村の関係 ～通勤通学率による結びつきの程度

各市町村に住む就労者(自営含む)と学生(15歳以上)の何%が、どこに通勤通学しているか



《連絡先》 入善町役場 議会事務局 入善町入膳3255 TEL 72-1100(内線)411 FAX 72-4711  
 E-mail: gikai@town.nyuzen.toyama.jp

# 傍聴席が「ひんひん」(子供たちの傍聴記)

一般質問初日に上青小学校の6年生全員が、社会科の学習「みんなの願いを実現する政治」をテーマに議会を傍聴しました。子供たちからの感想文が寄せられたので、その一部を紹介します。



◆町議会に行ってみて、入善町のこれからのことや私たちに関係のある学校、生活について興味深い話をしておられました。それぞれ、教育、安全などの課長

さんや役場の人たちがたくさんおられてびっくりしました。

しかしそのことよりも、議員さんが課長さんや役場の人たちにたくさん質問を本当に真剣に話しておられたことに感動しました。入善町のことについてすごく考えておられるんだなと、尊敬しました。

これからも入善町のことについてがんばってほしいと思います。

◆12月12日、町議会を見に行きました。とても真剣に話し合っていたので、「やっぱり町の人を代表している大事な会議だからかな。」と思いました。

わたしが一番印象に残ったのはダム問題です。自然流にすれば漁業の人はうれしいけど、電気はわずかしかつくれない。どっちもどっちで決めるのはたいへんそうだなあと思いました。

今日は議員の人たちの苦労がとてもわかりました。問題はこれからどうなるのか気になります。◆「これから議会をはじめます。」と議長さんが言われました。私は、前日から議会をとても楽しみにしていました。議会は、予想をはるかにこえて、とても勢いがありおどろきました。中でも一番印象に残ったのは、

は、議員さんが町長さんや役場の人に質問や反論をしているところ。私たちに関係があった子育てしえんの質問はとても印象深かったです。

私は、この町議会を見学して、議会のしくみや、議会の様子などがわかりました。機会があったらまた見学したいです。

## 入善むかし話(森清松編より)

観音さまの話

明日は入善観音まつり

いつも情けのヤー

情けの日本晴れ

入善小唄にうたわれている観音まつりは、むかしも今も、わたしたちの楽しみの一つです。

これは、石堂山観音寺にある観音さまの御開帳の日なのです。行基という偉いお坊さんが作ったといわれるこの御本尊について、つぎのような話があったわっています。

いまから約二百年ほど前、米屋与次郎(米沢元健さんの先祖)の下男たちが、ちょうど観音さまの近くの田で仕事をしていた。

そして、一休みのときに、平兵衛という人が、いつのまにか観音さまをだいてきて、「こんなものが仏さまかい。」といって、横の川へ投げこんでしまいました。すると、ふしぎにも、今まで元気よかった平兵衛が、たちまち全身がしびれ、目がくらん

で立っていられなくなりました。

しかたなく、ほかの下男に助けられて家へ帰り、主人に言ったところ、主人も、たいへんおどろき「それは、きつと観音さまの罰があつたのだらう」と、下男たちをつれて石堂山へお参りにいきました。

そして、川の中から観音さまを引き上げようとしたが、いや、その重いこと、重いこと、四、五人が力をあわせてもあがりません。

そこで平兵衛をつれてきて、自分が悪かったと反省させ、泣き泣き水中に入れて引きあげさせたところ、やすやすとあがることができました。

しかし、平兵衛の目がまだあかないので、毎日お花を持ってお参りさせたところ、ようやく、もとのようになりました。これを伝え聞いた人々は、なんとありがたい仏さまなんだらうと、新しい堂をたて六月十八日にぎやかなお祭りをするようになったのです。

## 編集の窓

あけましておめでとうございませう。

昨年テロ問題をはじめ、先行き不透明な暗いニュースが多かった。暮れに、天皇家の内親王愛子様誕生が唯一の明るいニュースといえる。皆様と共に健やかなご成長をお祈りしたい。

入善町では、幸い明るい出来事が多かった。入善浄化センターの供用開始、特別養護老人ホーム「おあしす新川」の開所、海洋深層水取水施設の完成、国道8号バイパス(四十八ヶ瀬大橋)の一部開通などである。

さて、広報も新スタッフでの議会だより発行となったところである。新委員長を中心に市町村合併問題、地域の昔話等をシリーズ化し、文字を大きくするなどしてより読みやすくなるよう工夫した。町民の皆さんに愛され、親しんでいただけるように今後も頑張る所存である。

### 議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 元島 正隆 |
| 副委員長 | 松田 俊弘 |
| 委員   | 上田 健次 |
| "    | 大橋美椰子 |
| "    | 谷口 一男 |
| "    | 上野 等  |